

伊東から

芥川龍之介

青空文庫

拜啓。小生は、元來新聞の編輯に無經驗なるものに御座候へども文芸上の作品は文芸欄に載るものと心得居り候。然るに四月十三日の時事新報（静岡版）は文芸上の作品を文芸欄以外に掲げ居り候。それは「けふの自習課題」と申すものに之これあり有候。

小学四年。さくらの花はどことなくみたてになつてゐますか？

小学五年。花崗岩くわかうがんはどんな鉱物から出来てゐますか？

小学六年。海藻かいさうの効用をのべなさい。

これは勿論詩と存じ候。殊に桜の花の「くみたて」などと申す言葉は稚拙ちせつの妙言ふべからず候。何か編輯上の手違ひとは存じ候へども、爾來じらいかかる作品は文芸欄へお収め下され度たたく、切望の至

りに堪へず候。右差し出がましき次第ながら御注意までに申し上げ候。頓首。

四月十三日

伊東にて

芥川龍之介

佐佐木茂索様

二伸。小生と同じ宿に十二三歳の少女有之、腎臓病とか申すことにて、蠟のやうな顔色を致し居り候。付き添ひ居り候は母親にや、但し余り似ても居らぬ五十恰好の婦人に御座候。小生、今朝ふと応接室へ参り候所、この影の薄き少女、籐のテエブルの上へのしかかり、熱心に「けふの自習課題」を読み居り候。定めし少女も小生と同様、桜の花や花崗岩や潮の滴る海藻を

想おもひ居ゐりしことと存ぞんじ候。これは決けつして臆おく測そくには無な之なく、少女
 の顔かほを一いち瞥べつ致ちし候はば、誰たれにも看かん取しゆ出来ゆることに御座候。小
 生せいは勿論もちろん「けふの自習課題」の作者さくしやに芸術げいじゆつ的てき嫉妬しつとを感じ候。然しかれ
 ども恍くわう惚こつたる少女せうじよの顔かほには言いふ可べからざる幸福しあふを感じ候。御
 同様どうがう文筆ぶんぴつに従したがひ居ゐり候上じやうは一いち行ぎやうにてもかかると書かき度たく、
 若わし又また新聞しんぶんの文芸欄ぶんげい欄にもかかる作品さくぴんのみ載のることと相成あり候はば、
 如何いかばかり快こころよからんなども存ぞんじ候。早さう早さう。

(大正十二年四月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

伊東から

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>